

# 決算説明資料 (2024年度)

2025年 6月12日



# 2024年度 決算概要

## 2024年度 決算概要

- 当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加等を背景に、緩やかな回復の動きがみられたものの、不安定な為替相場や資源価格の高騰、ウクライナや中東地域をめぐる情勢、米国の関税措置に伴う影響等、景気の先行きには依然として不透明感を残しております。
- このような事業環境の中、引き続き主要顧客である製造業からの製品受注が好調に推移したことに加え、昨年4月に義務化された化学物質対策におけるリスクアセスメント対象物質に対する保護具の商品受注も堅調であり、売上高は過去最高額となる141億12百万円（前事業年度比8.6%増）となりました。
- 利益面では、材料費の増加や労務費の上昇等の影響がありましたが、製品売上高の増加と製品原価率の改善等により、売上総利益は前事業年度比10.7%増の44億31百万円となりました。
- 販売費及び一般管理費は、人件費の上昇や昨年9月に切り替えを行った新たな基幹システムに関わる費用負担もあり一般管理費は増加したものの、効率的な営業活動により販売費を抑制し、全体としては前事業年度比4.5%増の33億61百万円となりました。
- 以上の結果、営業利益は前事業年度比36.3%増の10億69百万円、経常利益は37.1%増の10億97百万円、当期純利益は33.6%増の7億80百万円を計上する増収増益決算となりました。

# 2024年度 損益の状況

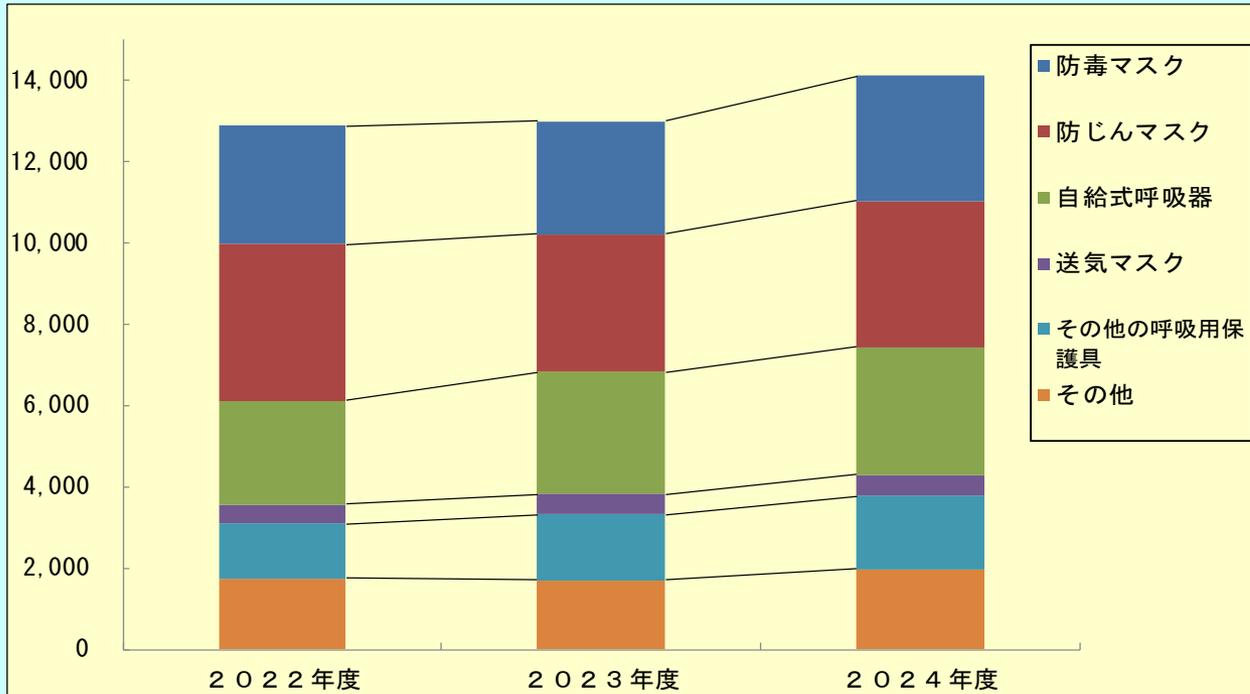
(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2022年度	2023年度	2024年度		
			実績	前々期比 増減	前期比 増減
売上高	12,875.7	12,995.4	14,112.6	1,236.9	1,117.2
製品製造原価	6,028.5	6,103.6	6,489.9	461.4	386.3
商品原価	2,762.0	2,888.9	3,191.4	429.4	302.4
売上原価	8,790.5	8,992.5	9,681.3	890.8	688.7
売上総利益	4,085.2	4,002.8	4,431.3	346.1	428.5
販売費及び一般管理費	3,120.1	3,218.0	3,362.0	241.9	144.0
営業利益	965.1	784.8	1,069.3	104.3	284.5
営業外収益	91.7	52.5	74.6	△17.0	22.1
営業外費用	31.4	36.6	46.0	14.7	9.4
経常利益	1,025.4	800.7	1,097.9	72.6	297.2
特別利益	5.6	—	0.4	△5.1	0.4
特別損失	8.2	3.9	66.0	57.8	62.1
税引前当期純利益	1,022.8	796.8	1,032.4	9.6	235.6
法人税等	203.9	218.0	230.8	26.9	12.8
法人税等調整額	70.6	△5.3	21.0	△49.7	26.2
当期純利益	748.2	584.1	780.6	32.3	196.5

# セグメント別売上高推移

(単位：百万円)

## 当年度の特徴



(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

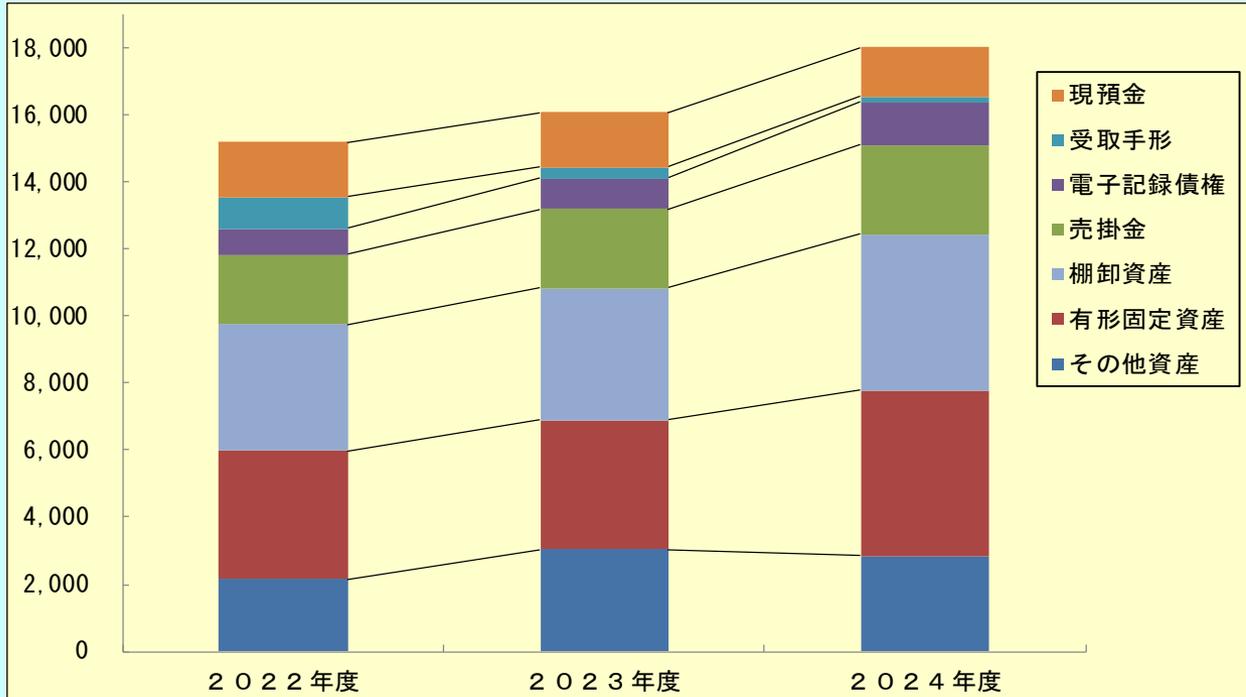
	2022年度	2023年度	2024年度
防毒マスク	2,899.0	2,774.0	3,066.3
防じんマスク	3,862.5	3,405.5	3,600.8
自給式呼吸器	2,544.9	3,003.7	3,148.5
送気マスク	475.2	506.7	530.5
その他の呼吸用保護具	1,355.2	1,595.9	1,789.9
その他	1,738.9	1,709.5	1,976.6
合計	12,875.7	12,995.4	14,112.6

- ① 主要顧客である製造業からの製品受注が引き続き好調に推移したに加え、昨年4月に義務化された化学物質対策におけるリスクアセスメント対象物質に対する保護具の商品受注も堅調であり、売上高は、前年度比11億7百万円の増加となりました。
- ② 主要品目別では、前年度比で防毒マスクが2億92百万円、防じんマスクが1億95百万円、自給式呼吸器が1億45百万円、その他の呼吸用保護具は1億94百万円の増加となり、送気マスクはほぼ前年並みの売上でありました。
- ③ また、その他項目では、防護手袋や保護衣等の保護具を中心に、前年度比2億67百万円の増加となりました。

# 主要資産状況推移

(単位：百万円)

## 当年度の特徴



- ① 現預金の残高は、前年度末比で1億54百万円の減少となりましたが、これは通常の変動の範囲内です。
- ② 売上債権（受取手形＋電子記録債権＋売掛金）残高は、売上高の増加を受け、前年度末比で4億92百万円の増加となりました。
- ③ 翌期の受注も順調なことを受け、棚卸資産全体は、前年度末比で7億21百万円の増加となりました。
- ④ 有形固定資産は、減価償却が進みましたが、建設中の船引事業所第三工場にかかる費用を建設仮勘定として計上したことから、前年度末比で10億99百万円の増加となりました。

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

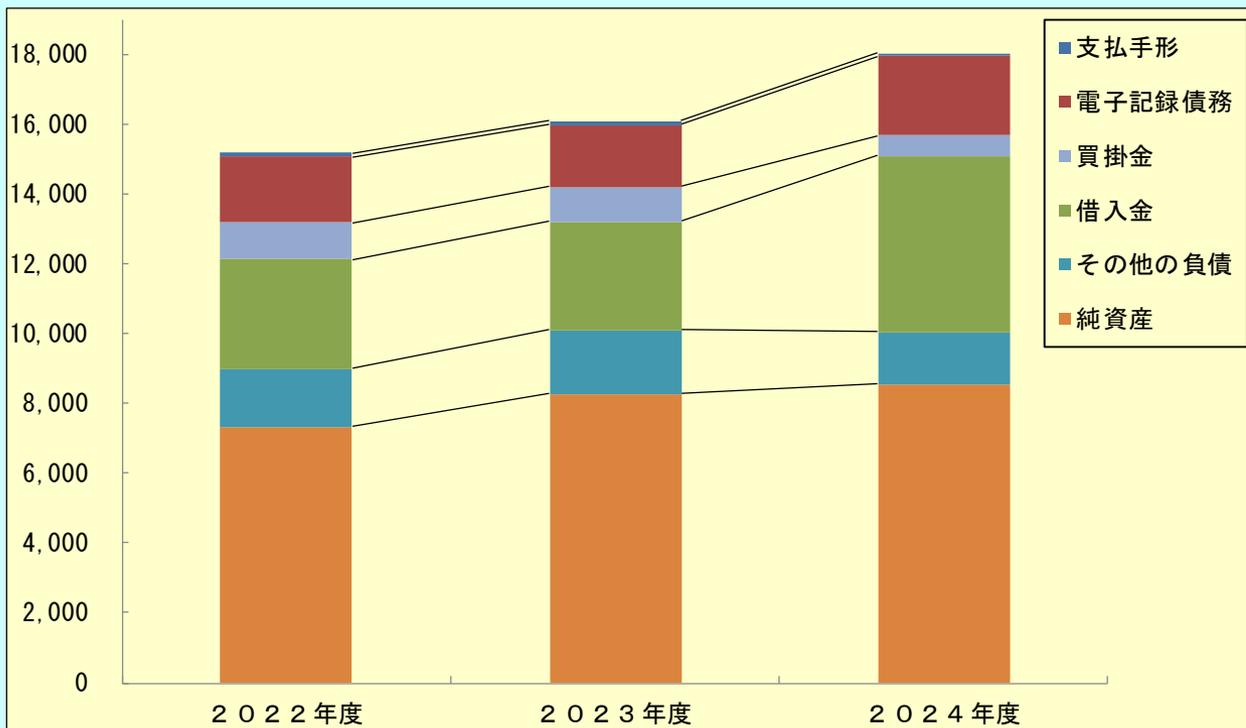
	2022年度	2023年度	2024年度
現預金	1,627.4	1,629.3	1,475.8
受取手形	965.1	345.1	180.0
電子記録債権	767.9	912.5	1,264.9
売掛金	2,085.6	2,369.5	2,673.9
棚卸資産	3,775.7	3,944.6	4,665.5
有形固定資産	3,820.4	3,843.4	4,942.6
その他資産	2,160.0	3,052.2	2,843.1
合計	15,202.1	16,096.5	18,045.9

注：受取手形割引額4億1百万円及び、電子記録債権割引額8億71百万円は、簿外のため含まれていません。

## 主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)

### 当年度の特徴



(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

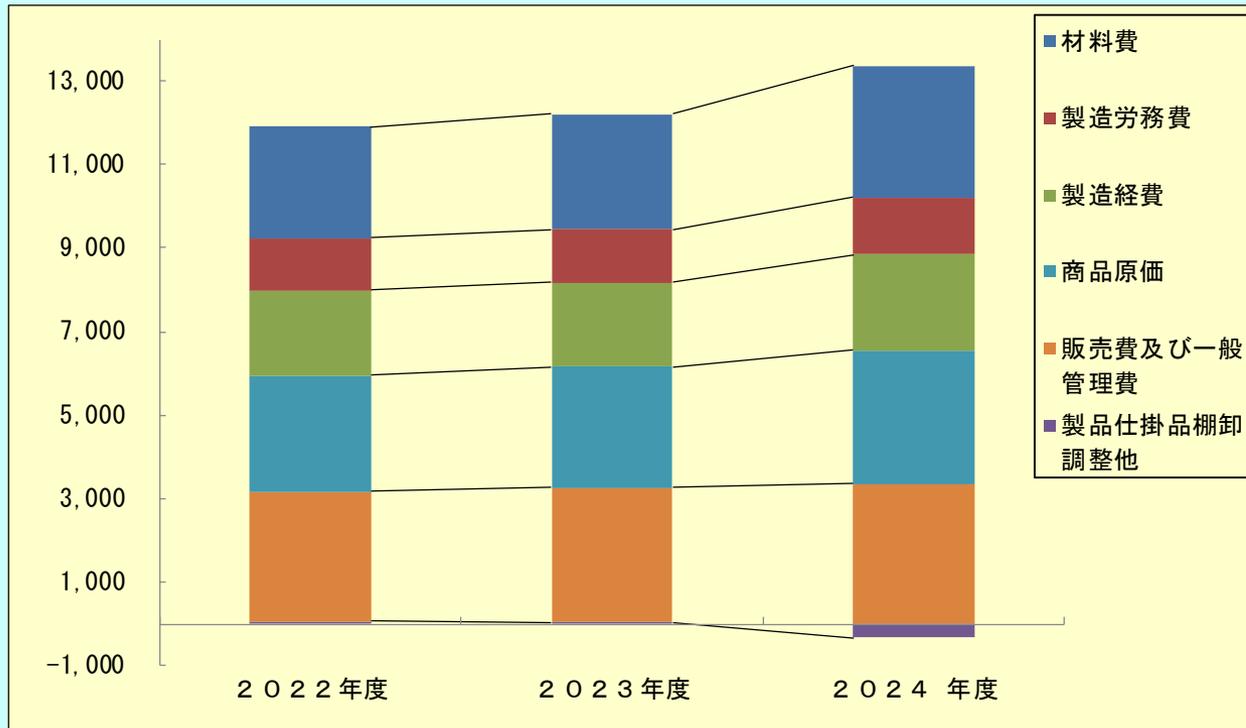
	2022年度	2023年度	2024年度
支払手形	110.6	103.8	89.4
電子記録債務	1,896.1	1,758.1	2,269.9
買掛金	1,053.5	1,009.1	583.4
借入金	3,125.0	3,110.0	5,030.0
その他の負債	1,668.4	1,832.5	1,507.9
純資産	7,348.4	8,283.1	8,565.2
合計	15,202.1	16,096.5	18,045.9

- ① 支払債務（支払手形＋電子記録債務＋買掛金）は、前年度末比で72百万円の微増となりました。
- ② 借入金は、昨年9月に切り替えを行った新たな基幹システムに関わる費用や来年1月に竣工予定の船引事業所第三工場に関わる先行費用負担等に加え、売上増加に伴う運転資金の増加もあり、前年度末比で、19億20百万円の増加となりました。
- ③ その他の負債は、未払金、繰延税金負債等が減少した結果、全体では前年度末比で3億25百万円減少しました。
- ④ 純資産は、前年度末比で繰越利益剰余金が7億6百万円増加し、有価証券評価差額金が4億9百万円減少した結果、全体では前年度末比で、2億82百万円増加の85億65百万円となりました。
- ⑤ 以上の結果、総資産は前年度末比19億49百万円増加し、自己資本比率は47.5%となり、前年度末比では4.0%低下しています。

## 売上原価・販売管理費推移

(単位：百万円)

### 当年度の特徴



- ① 材料費は、製品売上高の増加に伴う材料仕入の増加により、前年同期比で4億11百万円の増加となりました。製造労務費は、製品の増産対応等から、前年同期比で75百万円増加しました。製造経費は、外注加工費等の増加により、前年同期比で2億76百万円の増加となりました。
- ② 商品原価は、商品売上高の増加に伴い前年同期比で3億2百万円の増加となりました。
- ③ 販売費及び一般管理費は、人件費の上昇や昨年9月に切り替えを行った新たな基幹システムに関わる費用負担もあり一般管理費は増加したものの、効率的な営業活動により販売費を抑制し、前年同期比で1億44百万円の増加となりました。

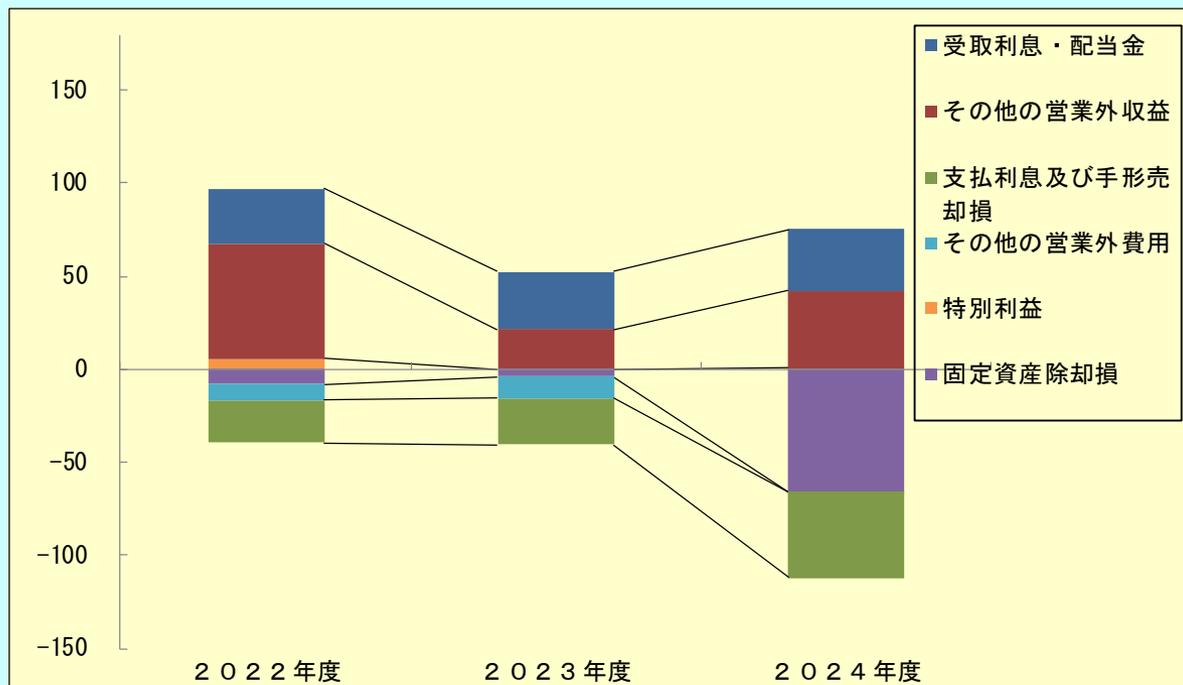
(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2022年度	2023年度	2024年度
材料費	2,672.0	2,760.7	3,172.2
製造労務費	1,253.9	1,273.7	1,349.0
製造経費	2,046.8	2,024.5	2,300.7
製品仕掛品棚卸調整他	55.8	44.7	△332.0
商品原価	2,762.0	2,888.9	3,191.4
販売費及び一般管理費	3,120.1	3,218.0	3,362.0
合計	11,910.6	12,210.6	13,043.3

## 営業外・特別損益推移

(単位：百万円)

### 当年度の特徴



- ① その他の営業外収益は、受取手数料13百万円の計上等から、前年同期比で20百万円の増加となりました。
- ② 支払利息及び手形売却損は、借入金が前年度末比で、19億20百万円の増加となったことから21百万円増加しました。
- ③ その他の営業外費用は、昨年度計上した為替差損がなくなったこと等から、前年同期比で12百万円の減少となりました。
- ④ 特別損失として、固定資産除去損66百万円を計上いたしました。

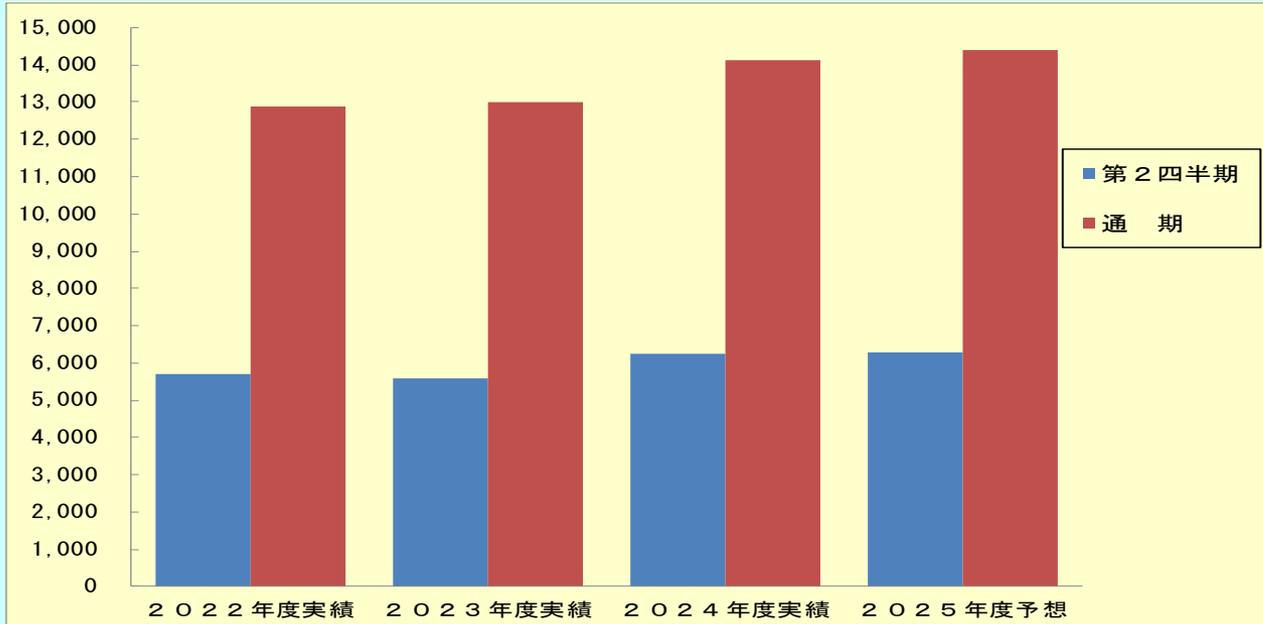
(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

		2022年度	2023年度	2024年度
営業外損益	受取利息・配当金	29.6	31.1	33.0
	その他の営業外収益	62.1	21.4	41.7
	支払利息及び手形売却損	△ 22.7	△ 24.8	△ 46.0
	その他の営業外費用	△ 8.6	△ 11.9	△ 0.0
営業外損益合計		60.3	15.9	28.6
特別損益	特別利益	5.6	—	0.4
	固定資産除却損	△ 8.2	△ 3.9	△ 66.0
	特別損益合計	△ 2.6	△ 3.9	△ 65.6

# 2025年度 業績予想

## 2025年度の売上予想

(単位：百万円)



(単位：百万円、小数点未満四捨五入)

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度予想
第2四半期	5,718	5,602	6,254	6,300
通期	12,876	12,995	14,113	14,400

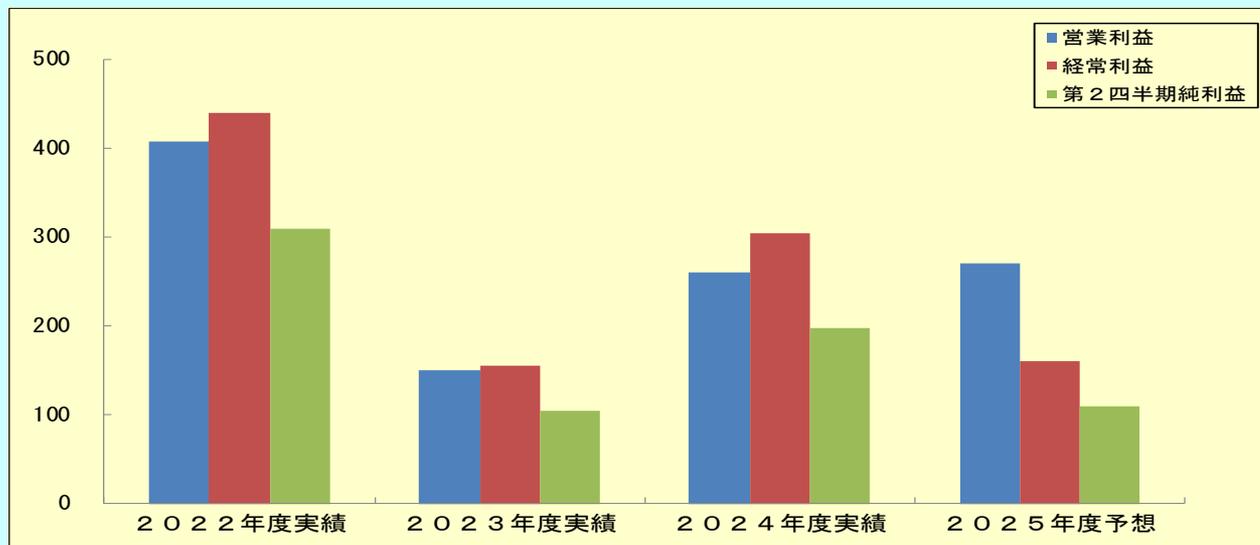
## 予想のポイント

今後のわが国につきましては、ウクライナ情勢・中東情勢、不安定な為替相場、米国の関税措置に伴う世界的なインフレ・経済減速懸念等、経済の先行きは依然不透明であります。

そのような環境の中、呼吸用保護具は、感染症の流行や地震、テロ等の各種災害に対する危機管理対策、各種社会インフラの整備改修等の需要により、今後も一定以上の受注は維持するものと思われまます。また化学物質対策におけるリスクアセスメント対象物質については、今後も追加が控えており、保護具等の受注についても、一定以上を確保するものと思われまます。

このような諸状況を総合的に勘案し、2025年度の通期売上高は、前年度比2億87百万円増加の144億円を見込んでおります。

## 2025年度 第2四半期の利益予想 (単位：百万円)



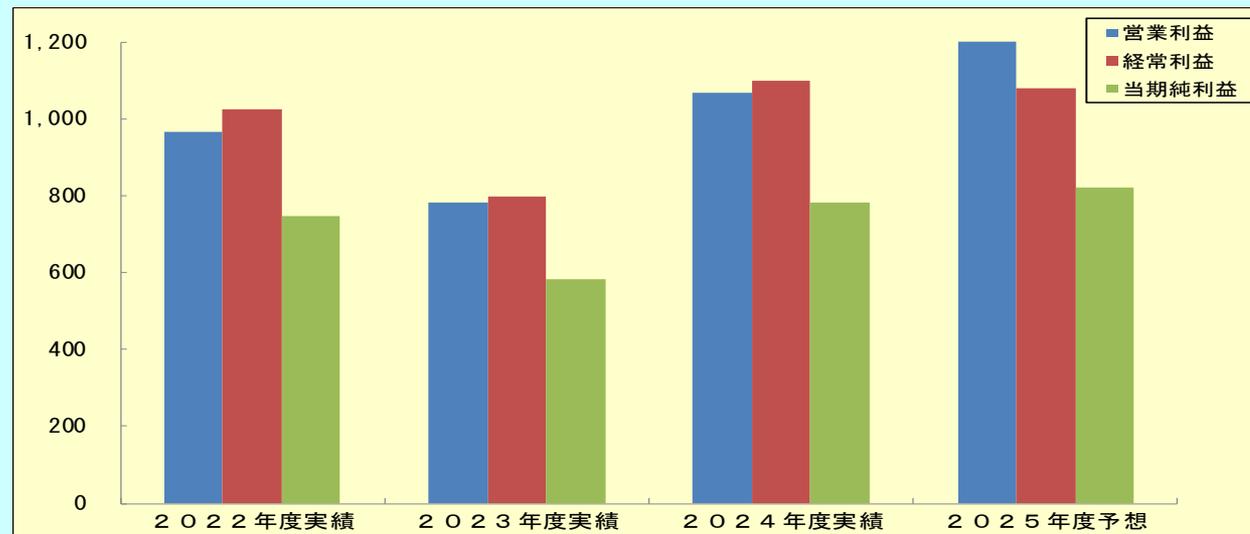
## 予想のポイント

2025年度第2四半期の利益面は、船引事業所第三工場建設に伴う先行費用負担等の影響もあり、前年同期比で営業利益は横ばい、経常利益、第2四半期純利益は減益の計画としております。

(単位：百万円、小数点未満四捨五入)

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
営業利益	407	150	261	270
経常利益	439	157	304	160
第2四半期 純利益	309	104	198	110

## 2025年度 通期の利益予想 (単位：百万円)



2025年度通期の利益面は、人件費の増加や資材価格・エネルギー価格高騰の影響はあるものの、営業活動の推進と人件費、諸経費の見直し等を進め、前年度比で営業利益は増益、経常利益は横ばい、当期純利益は増益と相応の利益計上を見込んでおります。

(単位：百万円、小数点未満四捨五入)

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
営業利益	965	785	1,069	1,200
経常利益	1,025	801	1,098	1,080
当期純利益	748	584	781	820